

# Kansai Geo-Symposium 2019

—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—

## 開催および広告募集のお知らせ

主催：(公社)地盤工学会関西支部，地下水地盤環境に関する研究協議会  
協賛：(公社)土木学会関西支部，(公社)日本材料学会関西支部，  
(公社)日本地すべり学会関西支部，(一社)日本建築学会近畿支部，  
(公社)日本地下水学会，(一社)日本応用地質学会関西支部，  
(公社)日本水環境学会関西支部，現場計測コンサルタント協会

地盤工学会関西支部と地下水地盤環境に関する研究協議会では，昨年に引き続き，共催で「*Kansai Geo-Symposium 2019* —地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—」を開催する運びとなりました．本シンポジウムを関西における地盤研究発表会のプラットフォームとするため，日々埋もれがちな貴重な計測データや地盤環境に配慮した工事事例・技術開発など実務的な内容を含めて，今年も幅広い分野をテーマとしております．これらの業務に携わる多くの技術者，研究者の皆様の多数のご参加をいただきますよう，ご案内いたします．

また，本シンポジウムでは論文集に掲載する広告を募集いたします．論文集はCD-ROM版で作成します．広告はPDFで論文集に収録するとともに，印刷物を当日配布するプログラムに添付します．皆様のご協力をよろしくお願い致します．

### 【行事参加】

G-CPDポイント：7.5

日 時：令和元年 11月1日(金) シンポジウム：9:00～18:00

懇親会：18:00～19:00

会 場：関西大学 100周年記念会館（大阪府吹田市 千里山キャンパス内）

大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

交通：阪急電鉄千里線関大前駅より徒歩5分

参加費：正会員・特別会員・協賛団体の会員 5,000円

学生会員 2,000円

非会員 7,000円

懇親会費：正会員・特別会員・協賛団体の会員・非会員 1,000円

学生会員 500円

※懇親会費は参加をご希望の方のみ

定 員：150名

### プログラム

#### 【総合会場】

9:00～9:05 開会挨拶 大島昭彦(地下水地盤環境に関する研究協議会 座長)

11:00～12:00 基調講演「歴史的地盤遺跡の保全と整備における地盤工学」  
三村衛(京都大学大学院 教授)

12:00～12:30 技術展示セッション

15:15～15:55 ポスターセッションコアタイム&コーヒーブレイク

P-01 高速道路斜面の予防保全管理のための空中電磁法探査の利用

牧浦信一, 上出定幸, 〇堤浩志(西日本高速道路(株)), 奥村稔, 小田和広, 松井保

P-02 蒸発効率の水分依存性のモデル化に関する一考察

〇軸屋雄太(鹿児島大学大学院), 酒匂一成, 伊藤真一

P-03 機械学習を用いた地下水発生に対する降雨量の基準値の設定

〇馬場咲也子(鹿児島大学大学院), 伊藤真一, 酒匂一成

- P-04 擬似飽和体積含水率に着目した現場計測データに基づく豪雨時のり面監視手法に関する研究  
○小泉圭吾（大阪大学），堤浩志，小田和広，伊藤真一，小松満
- P-05 長野県南木曾町梨子沢周辺における土石流発生履歴  
鈴木素之，○片岡知（（株）エイト日本技術開発），西山健太，松木宏彰，阪口和之，後藤聡，  
神谷知佳，海原荘一
- P-06 大分県中津市耶馬溪における大規模崩壊の発生機構に関する一考察  
○鈴木素之（山口大学），美馬健二，櫻井正明，西川直志，後藤聡
- P-07 斜面基礎補強時における網状鉄筋工の有効的な設置方法に関する基礎的研究  
○藤本将光（立命館大学），原田紹臣，山本和輝，高瀬蔵，玉木健太，小西成治，疋田信晴
- P-08 有機物の促進劣化試験とそれを含む土質試験  
○清水祐也（（株）奥村組），今井亮介，小西正郎，永原篤

18：00～19：00 懇親会挨拶 小田和広（地盤工学会関西支部 副支部長）

**【A会場】**

9：10～10：50 セッション1 テーマ：地中熱(1)・地盤環境

座長：勝見武（京都大学大学院）

- 1-1 大阪市舞洲の被圧帯水層の地下水位変動による洪積粘土層の繰返し圧密挙動と沈下予測  
○武野航大（大阪市立大学大学院），大島昭彦，天満脩平，中尾正喜，中曾康壽
- 1-2 地下水流動検討のための地盤モデルの構築と帯水層蓄熱（ATES）利用ポテンシャルマップの作成  
○藤原照幸（（一財）地域地盤環境研究所），春日井麻里，濱田晃之，伊藤浩子，北田奈緒子，  
三田村宗樹，和田祐宏
- 1-3 帯水層蓄熱（ATES）利用を想定した地下水流動シミュレーション  
○春日井麻里（（一財）地域地盤環境研究所），西垣誠，今井紀和，藤原照幸，濱田晃之，  
伊藤浩子，北田奈緒子
- 1-4 大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく土壌汚染対策  
○中戸靖子（大阪府環境農林水産部）
- 1-5 土壌汚染対策法に基づく調査結果からみた西大阪地域における鉛とひ素の土壌溶出量の傾向  
○伊藤浩子（（一財）地域地盤環境研究所），勝見武
- 1-6 熊本市内で発生した被災家屋解体廃棄物の適正処理とリサイクル  
○花木陽人（（株）鴻池組），角矢佳浩，南京秀己，西村良平，吉岡由郎
- 1-7 界面活性剤の浸透制御による油汚染地盤の非掘削浄化  
棚橋秀行，○古田淳士（大同大学），野村凌平
- 1-8 平成29年度地下水質測定結果について  
○佐藤巧太（環境省 水・大気環境局）

13：30～15：10 セッション2 テーマ：「関西の地盤情報に基づく

防災ハザードマップ開発研究委員会」特別セッション

座長：大島昭彦（大阪市立大学大学院）

- 2-1 大阪市港区弁天町地区での地盤調査結果  
○大島昭彦（大阪市立大学大学院），近藤政弘，坂本寛章，阪東聖人，中井健博，深井晴夫，  
久保田耕司
- 2-2 大阪市港区弁天町地区における液状化危険度評価の比較  
○佐川厚志（中央復建コンサルタンツ（株）），大島昭彦，後藤浩之，末吉拳一，甲斐誠士，  
景山健，春日井麻里，永井久徳，阪東聖人，深井晴夫
- 2-3 等価線形地震応答解析による大阪表層地盤の揺れやすさと液状化危険度の予測  
○末吉拳一（日本工営（株）），大島昭彦，中村優孝，濱田晃之，春日井麻里，平井俊之
- 2-4 和歌山市北部造成地の常時微動特性と造成年代  
○鍋島康之（明石工業高等専門学校），大島昭彦，河井克之，遠藤信之，福塚健次郎，豊福恒平

- 2-5 猪名川町大規模盛土の調査事例  
○宮田和（清水建設(株)）、河井克之、立石亮
- 2-6 2016年熊本地震およびその後の斜面崩壊地の地形解析  
○鳥居宣之（神戸市立工業高等専門学校）、岡本涼輝、野並賢、河井克之、豊福恒平
- 2-7 線状構造物における盛土のマクロ的リスク評価とハザードマップ  
○林健二（(株)フォレストエンジニアリング）、鍋島康之、石田優子、志賀直樹、福塚健次郎、鈴木達也、中西典明、内田晶夫
- 2-8 兵庫県南部地震における西宮市盛土造成地被害と地盤情報の相関分析  
鍋島康之、○福塚健次郎（(株)アーステック東洋）、田淵圭、吹田浩一

**16:00~18:00 セッション3 テーマ：調査・計測技術・その他**

**座長：鈴木素之（山口大学大学院）**

- 3-1 UAVと3Dレーザスキャナを組み合わせた斜面災害調査  
○鍋島康之（明石工業高等専門学校）、森誉光、住田聡
- 3-2 磁場の変化を利用したコンクリート壁背面での空洞進展モニタリングと可視化  
芥川真一、○大島淳矢（神戸大学大学院）、伊藤良介
- 3-3 擬似飽和現象に着目した現地観測結果の一考察  
○岡崎滉大（大阪大学大学院）、小泉圭吾、小松満、小田和広、堤浩志
- 3-4 マクロサイズの空隙分布が降雨に伴うサクシオンおよび体積含水率の変化におよぼす影響  
○北岡貴文（京都大学大学院）、吉田伊織、矢部満、Pipatpongsa Thirapong、大津宏康
- 3-5 不均質な空隙分布が土壌雨量指数を用いた間隙圧推定におよぼす影響  
○前川竜兵（京都大学大学院）、北岡貴文、Pipatpongsa Thirapong、大津宏康
- 3-6 連続雨量に基づく通行規制・解除基準と土壌雨量指数によるその比較  
○小田和広（大阪産業大学）、鳥居宣之、小山倫史、小泉圭吾、藤本将光
- 3-7 無降雨期間における体積含水率の経時変化に対するデータ同化  
村川樹、○小田和広（大阪産業大学）、堤浩志、小泉圭吾、伊藤真一、西村美紀
- 3-8 供試体の寸法が一軸圧縮試験結果に与える影響について  
○日置和昭（大阪工業大学）、服部健太
- 3-9 容器の種類や容量が土粒子の密度試験結果に与える影響について  
○服部健太（関西地盤環境研究センター）、藤田琢磨、日置和昭
- 3-10 円筒型コラムを用いた細粒分流出実験における濁度計による流出土粒子径の経時変化に関する研究  
○石丸太一（山口大学大学院）、鈴木素之、若松知季

**【B会場】**

**9:10~10:50 セッション4 テーマ：「斜面災害のリスク低減に関する研究委員会」特別セッション**

**座長：藤本将光（立命館大学）**

- 4-1 現地モニタリング結果を用いた土砂災害危険度評価に関する研究  
○館野祐一郎（立命館大学大学院）、藤本将光、小山倫史、鏡原聖史、鳥居宣之
- 4-2 綾部市安国寺裏斜面における動態モニタリング結果の考察  
近藤慎太郎、○小田和広（大阪産業大学）、矢野晴彦、小泉圭吾、伊藤真一
- 4-3 綾部市安国寺裏斜面・測線①における現地観測システムのメンテナンス  
○尾家加奈子（大阪大学）、小泉圭吾、塚部聡太、小田和広
- 4-4 山間集落における住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築に関する研究  
—福井市高須町の事例  
○小山倫史（関西大学）、近藤誠司、小林泰三、芥川真一、佐藤毅、中田勝行、下嶋一幸
- 4-5 GNSを用いた広島県の市区町村における土砂災害リスクの経年評価  
○梶谷娑和（関西大学）、小山倫史、伊藤和也、菊本統
- 4-6 崩壊地の調査事例ならびに被覆工の雨水浸透防止効果

- 鏡原聖史（(株)ダイヤコンサルタント）、鳥居宣之、岩佐直人、坂東聡  
4-7 ハンドヘルドレーザ計測による既設対策工の効果検証  
○小松慎二（応用地質(株)）、安藤伸、北田憲嗣、鏡原聖史、鳥居宣之

**13：30～15：10 セッション5 テーマ：地中熱(2)・防災・水質**

**座長：神谷浩二（岐阜大学）**

- 5-1 大阪都心部における地下温暖化の実態（その3）  
○有本弘孝（(株)地域地盤環境研究所）、濱元栄起、谷口真人、齋藤哲也、中戸靖子、神谷浩二  
5-2 大阪平野における地下温暖化の将来予測  
○濱元栄起（埼玉県環境科学国際センター）、有本弘孝、谷口真人、齋藤哲也、中戸靖子、神谷浩二  
5-3 大阪地域における地下水位および地盤沈下量の長期変動について  
○稲葉徹（五洋建設(株)）、長屋淳一、春日井麻里、大島昭彦、磯野栄一、北田奈緒子、谷本裕則  
5-4 市街地液状化対策の事例収集  
○野牧優達（応用地質(株)）、春日井麻里、大島昭彦、諏訪靖二、平田茂良、深井公、吉川雅史  
5-5 SWAT モデルによる都市化流域での地下水涵養量の長期的な変動評価  
－森林の成長及び都市化段階を考慮した大和川流域での例－  
王崑陽、○齋藤光代（岡山大学大学院）、小野寺真一、岩田徹  
5-6 都市化にともなう地下水涵養量の変化と下水道漏水の地下水水質に及ぼす影響  
○小野寺真一（広島大学大学院）、清水裕太、齋藤光代、友澤裕介、王崑陽、伊藤浩子  
5-7 重力探査による越前大野盆地の地下水賦存量の推定に関する研究  
楠見晴重、○新田真也（関西大学大学院）  
5-8 濃尾平野における扇状地河川からの地下水涵養量とその地域的特徴  
神谷浩二、○桑山浩幸（岐阜大学）、井上裕、井上やおき

**16：00～18：00 セッション6 テーマ：土構造物・その他**

**座長：小泉圭吾（大阪大学大学院）**

- 6-1 河川防潮堤耐震強化対策における台船式大口径高圧噴射攪拌工法の適用事例  
○吉田朋哉（小野田ケミコ(株)）、桑原宏之、松岡大介、西尾経、齋藤邦夫  
6-2 土のう構造物を用いた盛土の耐震補強工法に関する解析的検討  
○丁経凡（神戸大学大学院）、澁谷啓、片岡沙都紀、白濟民  
6-3 機械学習によるトンネル切羽の岩盤判定と支保パターン決定に関する研究  
○金子元紀（関西大学大学院）、楠見晴重、尹禮分、西尾彰宣  
6-4 拡翼アンカー工法の開発に関する基礎的研究  
○部谷遼平（立命館大学大学院）、河野恒太、灘とも子、小林泰三、深川良一  
6-5 細粒土砂の移動を考慮した急傾斜地崩壊防止施設に関する研究  
○原田紹臣（京都大学大学院）、藤本将光、小西成治、河野和人、水山高久  
6-6 神戸層群における長大切土法面の強度低下と残留強度の評価  
○三好忠和（西日本高速道路エンジニアリング関西(株)）、田久勉、坂本英明、澁谷啓、  
小山純二、戎剛史、柴崎達也  
6-7 神戸市域における2014年台風11号豪雨による土石流危険溪流の土砂流出特性  
○南部啓太（協和設計(株)）、澁谷啓、西岡孝尚  
6-8 斜面安定解析における透水性分布の不均一性の影響に関する研究  
○齋藤雅彦（神戸大学大学院）  
6-9 浸透係数を導入した浸透解析モデルのデータ同化による豪雨時の浸透現象についての考察  
○西村美紀（大阪大学）、小泉圭吾、伊藤真一、小田和広、堤浩志  
6-10 水平・上下動同時入力時の基礎－地盤－構造物系の非線形地震応答特性  
山下典彦、宮脇幸治郎、○井口海都（大阪産業大学）

## シンポジウムおよび懇親会参加申込み方法：

参加ご希望の方は、下記期日までに、地盤工学会関西支部 HP (<http://www.jgskb.jp/>) よりお申し込みください。申込受付後、参加証、請求書および郵便振替用紙をお送りいたします。FAX やメールでも受付しております。なお、参加費の納入は郵便振替(銀行振込・現金書留可)でお願いいたします。

### 参加申込期日：令和元年 10 月 16 日 (水)

- ・令和元年 10 月 17 日 (木) 以降の参加申込のキャンセルはお受けできません。令和元年 10 月 18 日 (金) より、お申込いただいた方に順次論文集を郵送いたします。
- ・シンポジウム当日会場での現金によるお支払いは、原則として、お受けいたしません。
- ・論文集の印刷物(冊子製本版)の郵送や配布はございませんので、各自必要に応じて印刷等していただき、当日ご持参いただけますよう、宜しくお願いたします。

### 【広告募集】

掲載料： 1 ページ 10,800 円 (税込み, A 4 版)

広告原稿： A 4 版 (単色またはカラー)

掲載形式： 広告は、論文集 (CD-ROM) に掲載

技術展示：

- ・広告を申し込まれた機関には、技術展示のスペースとセッションをご用意いたします。
- ・参加者の皆様とより多くのディスカッションの機会を持っていただくため、技術展示セッションを開催いたします。
- ・技術展示に出展いただける機関には、1 機関あたり 2 名までシンポジウム参加費を無料とさせていただきます。技術展示への出展をご希望の場合は、下記の *Kansai Geo-Symposium 2019* 運営委員会事務局までお申し出ください。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

申込方法：

広告の内容予定、技術展示ご希望の有無などをご記入の上、書面またはメールでお申込みください。申込受付後、所定のフォーマット、請求書および郵便振替用紙をお送りいたします。なお、掲載料の納入は郵便振替(銀行振込・現金書留可)でお願いいたします。

申込期限： 令和元年 9 月 20 日 (金)

原稿締切： 令和元年 9 月 27 日 (金)

### すべての申込み・問い合わせ先：

*Kansai Geo-Symposium 2019* 運営委員会

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 8 階 801 号室

電話：(06) 6946-0393 FAX：(06) 6946-0383 E-mail：office@jgskb.jp